

歌壇

大下一真選

特選

さみどりのかぼちゃに付きしシールには

ニュージーランドの農夫の笑顔

水道 菅井 茂子

身めぐりを清むるごとく朝咲くま白き木槿夕べには閉づ

あした

本駒込 唐木 よし子

さまぎまの国の人達肩よせて根津の社のつつじのまつり

水道 高木 マリ

入選

先はない手と足鍛え目も鍛え今からはじめるギターLESSン

千駄木 塚本 トメ子

満開の桜の下で鬼ごっこ子達の背中花びらも追ひ

白山 鈴木 千寿子

繕わず人と比べぬ生き方を貫いてきた私の誇り

音羽 黒坂 進

何時迄も見えていて飽きない曾孫に元気貰ったもう少し生きよう

千駄木 上杉 紀世子

袋持ち空き缶ひろう若き人声をかければ笑顔清しく

小石川 赤塚 美智子

花びらの一枚分を補ひてなほ余りある花水木の香

大塚 北村 敦子

社の自動ドア抜けし手に定期券改札と間違えし新社員

千石 菊地 正矩

俳壇

松澤 雅世 選

特選

五線紙のラの音と成る蜘蛛の子よ

本駒込 関口 けい子

夜桜の闇の鼓動の生れにけり

本郷 増田 康子

あと何度ともに見あぐる櫻花

大塚 北村 敦子

入選

忘れたい忘れたくない年の暮

小石川 木村 吉秀

新緑に余生てふ時期尋ねたし

本郷 町田 菊男

きな臭い記事に溢れし四月馬鹿

音羽 黒坂 進

囀りをこぼさじと聞く木々の影

西片 高橋 千恵子

母の声リフレインする母の日は

西片 中島 多津子

定まらぬ終の住処や花筏

向丘 丸岡 正児

金屏風寄り添う影を夜半の春

千石 菊地 正矩